

# 2022-2023 助成金プログラムガイドライン

「生活の質」(クオリティ・オブ・ライフ)の向上にフォーカス

Keiro は 60 年以上にわたり、ロサンゼルス、オレンジ、ベンチュラカウンティにある日系コミュニティの高齢者とその介護者の生活の質を向上させる事に専心して参りました。過去6年にわたり、Keiro は、コミュニティの中で生活する高齢者とその介護者の変化するニーズに対応し、支援したいという Keiro の目標を促進させる 1 つのプログラムとして、当「助成金プログラム」を実施して参りました。サービス提供地域の中で、私たちの理念と目標に沿っている団体・組織の取り組みを支援することで、「私たちのコミュニティの高齢者の生活の質を向上」という Keiro のミッションの更なる推進を目指しています。

2022-2023 年の Keiro 助成金プログラムは日系コミュニティの高齢者とその介護者の方の**生活の質の向上**に注力するプログラムを支援します。Keiro は私達コミュニティの高齢者、その介護者、そして彼らをサポートする全ての人々の健康とウェルビーイングの促進に貢献するため、各種プログラムやサービスの提供に加え、協力やパートナーシップを通じてミッションを遂行しています。以下の要素を核に日系文化に配慮した、人中心のアプローチで高齢者と介護者の生活の質の向上に努めています。

**健康／ウェルネス:** 人々の健康とウェルネスは個々の身体や精神状態そして感情によって左右されます。病や症状の有無とそのリスク、そして自身の健康状態についての捉え方も健康／ウェルネスに含まれます。

**生きがい:** 高齢者は皆、自分の生きがいと感じられる、自分の生活に意義と喜びをもたらす何かを一つは持つべきでしょう。生きがいには家族や友人そして社会とのつながり、趣味やスピリチュアリティも含まれます。生きがいは人生の中で何度も見直されるものですが、生きがいの欠如はウェルビーイングの低下に繋がります。

**つながり:** 人間は本来社会的な生き物であり、繁栄のためにも社会的関わりが不可欠です。家族単位であれ、コミュニティ単位であれ、つながりは身体的、精神的、感情的なウェルビーイングのために重要です。対面での交流、メディアを介したバーチャルな交流に関わらず、つながりの欠如は総合的な健康／ウェルネスに大きな影響を与えることが分かっています。

**安心:** 高齢者が健康で充実した毎日を過ごすには安心感が必要です。経済的な安定、安定した住まい、信頼できる社会的ネットワーク、そして手頃で良質なサービスが受けられる環境なども安心につながります。このような安心要素が 1 つ欠けるだけでも、高齢者の生活の質を損なうきっかけになり得ます。

**自主性・自律性:** 高齢者が歳を重ねる程に、どのように生きていくかを自分自身で選択する、自律性の維持が大切になってきます。身体能力や認知力の低下により難しい場合もありますが、自律性の無さを感じることも自体も生活の質を低下させるきっかけになり得るのです。

2022-2023 助成金プログラムにおいては、申請するプログラムが、上記の Keiro が定義する生活の質の要素一つ以上に沿い、尚且つ高齢者及び/または介護者に対する効果を実証する必要があります。

以下のガイドラインでは、2022-2023 年の助成金プログラムについての概要を記載しています。申請プロセスなどの質問についても受け付けています。また、オンラインでの説明会も複数回実施し、申請されたい団体様向けに申請方法や昨年との変更点などについてご説明いたします。説明会の日程や時間、その他の情報は Keiro のウェブサイトよりご覧ください。説明会に参加するには申し込みが必要となります。

### 目的と目標

- ・ 日系アメリカ人及び日本人コミュニティの高齢者及びその介護者の方の生活の質を向上
  - ・ 特にコミュニティの高齢者、及び介護者へ手を差し伸べ、Keiro の定義する生活の質(クオリティ・オブ・ライフ)の中の要素一つ以上に注力していること。
- ・ コミュニティ内でのプログラム、イベントの実施、あるいはそれらのプログラムの提供範囲を拡充させながら、新しいメンバー(高齢者・介護者)を含めること、またしばらく連絡がついていない方へ手を差し伸べている
- ・ 文化的な背景を考慮したプログラムやサービスの促進

### サービス提供対象者

- ・ Keiro の助成金は、私たちのコミュニティの高齢者及び介護者の方を対象にしたサービスやプログラムを支援します。助成金を受け取るにはプログラムが主に三つのカウンティ(ロサンゼルス、オレンジ、ベンチュラ)内に住む日系アメリカ人および日本人高齢者を対象にしている必要があります。

### 助成金プログラムの内容について

サービス提供する対象者が複数いる場合も多々あります。以下一つもしくは両方へのサービス提供していることを前提とします。

#### ・ 高齢者へのサービス

全ての日系アメリカ人成人のうち 5 人に 1 人が 65 歳以上です。これはアメリカの全人口の 65 歳以上の成人の割合の 2 倍です。Keiro では、日系アメリカ人と日本人の高齢者が『ホーム』と呼べる場所で生活の質を向上できるよう適切な知識、リソース、援助を提供できる支援を考えています。

助成金は、最も支援を必要としている高齢者の生活の質を向上させるサービスを支援します。以下、サービスの例です(これらに限定されるわけではありません)：

- 社会的孤立と孤独を軽減できるよう日系アメリカ人および日本人の高齢者の方がコミュニティに属していると感じられるように支援・取り組む
- 安全な環境で自立して暮らしたいと希望する高齢者を支える。
- 極めて重要なコミュニティのプログラムとサービスへのアクセスを改善する。
- 高齢者とその家族が十分な情報に基づいて意思を決定し、良く考えた上で(終末期を含む)計画を立てられるようにするための教育を行う。

## ・ 介護者への支援

人々の寿命が伸び、施設機関よりも自宅で暮らすことを選ぶ人が増えるにつれて、家族介護者に対する要求と負担も増えつつあります。Keiro はコミュニティの中でニーズが高い高齢者を手助けする介護者を支えたいと考えています。

助成金は、介護者に支援を提供する団体または高齢者に介護サービスを提供する団体に授与されます。以下、サービスの例です(これらに限定されるわけではありません):

- 介護の身体的・精神的・金銭的負担を緩和するための介護者支援システムを強化する。
- 正しく訓練を受け、文化に配慮し、幅広いニーズに順応し、適切な自宅でのケアが提供できる専門的介護者と私的介護者の両方を十分供給できる方法を作り上げる。
- 文化に配慮した適切な介護にアクセスできない最も脆弱な高齢者のニーズに取り組む。
- 介護者が自分自身と家族のために自信を持って意思決定を行えるような支援に取り組む。

### 授与金額と条件について

資金授与の金額は、最大で 1 団体に付き\$20,000 です。助成金はプログラム支援、資本投資、能力構築、および運営全般の支援のいずれかあるいは複数に充てられます。一つの団体が複数の申請書を提出することも可能ですが、その場合においても最大額は団体ごとに\$20,000 になります。

**助成金の期間は 1 年です。複数年にまたぐ支援は実施いたしません。**

受領した団体については受領期間の 12 か月の間に、中間および最終報告書をご提出いただきます。報告書にはプログラムがどのようにしてプログラム参加者の生活の質を向上しているかを示す定量的および定性的測定情報を含めることが求められています。

助成金の支援は以下のような団体やプログラムが優先されます:

- ・ 草の根組織を支援するため、年間運営予算が \$1,000,000 未満の団体
- ・ 1 回限りのイベントより、生活の質を持続的にサポートする定期的な、継続的に提供されるプログラム

以下のような団体やプログラムも優先されます:

- ・ Keiro の助成金プログラムの目的に沿っている
- ・ プログラムが、高齢者及びその介護者の生活の質をどのように向上させるかが明確に定義されている
- ・ 生活の質に関連する、測定可能で説得力のある成果とインパクトを示している(p.1 を参照)
- ・ 12ヶ月の助成金サイクル以降も持続可能なプログラムを生み出す、または構築するための明確な取り組みを確立している
- ・ 私たちのコミュニティーにおける高齢者や介護者の差し迫ったニーズや機会に取り組んでいる
- ・ プロジェクトを効果的に遂行できるような、現実的なプログラム予算と能力を有する
- ・ 日系アメリカ人・日本人の文化に配慮している

### 支援の種類

すべての助成金受領団体のプログラムは、新型コロナウイルスによる行動制限の中、専門家の推奨事項に従い安全に提供されていることを前提とします。

助成金が支援するプログラムは主に次の種類に分けられます：

- ・ **プログラム促進(Program development)** 新たなプログラムを始める、もしくは既存のプログラムやサービスを強化することです。例：資料の翻訳、アウトリーチ活動、送迎サービス、文化に配慮したアクティビティ、症例管理等。
- ・ **能力構築(Capacity building)** 団体の計画立案、管理の効率化、システムや手法の改革、あるいは持続可能性の構築を支援することです。
- ・ **コアな運営(Core operations)** 高品質で、必要性が高く、成果が実証され、参加率が高いサービスの提供を持続することです。
- ・ **資本投資(Capital investments)** 設備機器の購入や改修プロジェクトへの資金供給などが含まれます。

#### 生活の質について

申請書には、どの生活の質の要素が支援されるかを明確に記載する必要があります。以下、少なくとも1つの要素について具体的に申請書に記載・明記する必要があります：

- ・ 健康・ウェルネス
- ・ 生きがい
- ・ つながり
- ・ 安心
- ・ 自主性・自律性

#### 申請資格について

申請する内容は、以下の対象者に向けて及び場所においてプログラム、サービスを提供する必要があります：

- ・ 日系アメリカ人及び日本人コミュニティの高齢者及び介護者へ主にサービス提供している
- ・ ロサンゼルス、オレンジ、あるいはベンチュラカウンティにてサービス提供している

申請団体は以下のいずれかに該当する必要があります：

- ・ IRS で定められている 501(c)(3)非営利団体ステータスを持っている
- ・ 501(c)(3) 団体が財務代理機関(Fiscal Sponsor)となっているコミュニティ団体
- ・ 宗教法人についてはコミュニティのすべてのメンバーにサービス提供する場合に応募可能となる

#### 申請対象外

申請対象外者は以下の通りです：

- ・ ロサンゼルス、オレンジ、ベンチュラカウンティ以外でサービス提供しているプログラム
- ・ 政府機関や組織
- ・ 医療リサーチ目的
- ・ 個人
- ・ 資金集めの行事
- ・ 基金
- ・ 政治活動や政治運動

- ・ 助成金提供組織や他の団体に授与する目的

#### 期日・締め切り

今年は安全に考慮し、すべての申請書類は電子メールにて [grants@keiro.org](mailto:grants@keiro.org) へご提出ください。

申請は、Keiro オフィスへ直接赴いての提出はされないようご協力をお願いいたします。郵送される場合は期日までの消印があるもの限り受け付けますが、その際はまず [grants@keiro.org](mailto:grants@keiro.org) まで Email にてその旨ご連絡ください。

印刷されたハードコピーでの提出も可能ですが必須ではありません。郵送される場合は以下の住所へ送付をお願いします。

Keiro  
ATTN: Grants Program  
420 East Third Street, Suite 1000  
Los Angeles, CA 90013

Fax で提出される場合はこちら:213.873.5799. 送付後、その旨 [grants@keiro.org](mailto:grants@keiro.org) までご連絡願います。

#### 提出期限

最終締切期限は **2022 年 10 月 14 日西部時間午後 5 時**です。早期提出をお勧めいたします。例外は認められません。予めご了承ください。

受領団体の発表は 2023 年 3 月を予定しております。

助成金についてのお問い合わせは プログラムディレクタの Makoto Kotani へ、Email ([grants@keiro.org](mailto:grants@keiro.org)) もしくは 213.873.5703 までご連絡ください。